

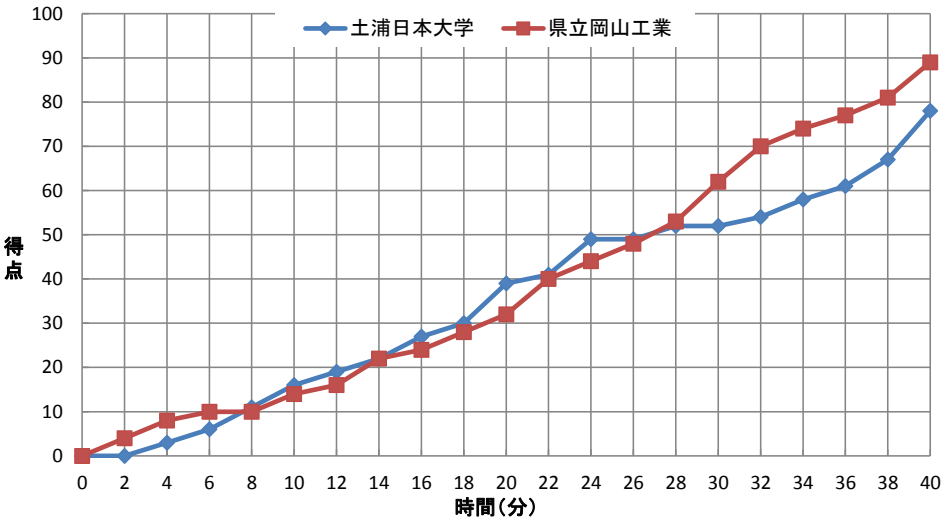


平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

男 子							平成28年7月28日 11:10 開始						
1 回戦							安佐北区スポーツセンター I						
土浦日本大学 78							89 県立岡山工業						
(茨城県)							(岡山県)						
161st14 232nd18 133rd30 264th27							◎						
番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則
* 4	菅原 暉	9	1	3	0	4	* 4	伊藤 聖浩	32	2	9	8	1
5	宮澤 亘	0	0	0	0	0	5	角谷 大成	4	0	2	0	0
* 6	土肥 シャヒン	7	0	2	3	3	* 6	秋岡 和典	16	3	3	1	3
7	高松 駿斗	7	2	0	1	5	* 7	大山 直登	20	0	10	0	3
8	高橋 優人	4	0	2	0	0	* 8	黄 杲路	14	0	6	2	3
* 9	大久保 海斗	11	3	0	2	5	9	岡村 竜生	-	-	-	-	-
* 10	高原 晟也	31	6	4	5	3	10	三宅 怜哉	0	0	0	0	0
11	新山 航希	0	0	0	0	0	11	三宅 曜平	-	-	-	-	-
12	山崎 凜	-	-	-	-	-	* 12	國次 立樹	2	0	1	0	4
13	吉田 崇紘	0	0	0	0	1	13	田中 玲司	0	0	0	0	0
14	細割 駿佑	9	0	4	1	0	14	河本 直也	0	0	0	0	0
* 15	倪 磊	0	0	0	0	0	15	林 汰成	1	0	0	1	0
コーチ	佐藤 豊					0	コーチ	岸本 哲也					0
Aコーチ	高橋 佑輔						Aコーチ	二宮 滉司郎					
合 計		78	12	15	12	21	合 計		89	5	31	12	14
主審: 塩谷 禎													
副審: 江取 大介													

得点経過



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	12:49	19:30	30:53	32:45	35:35	:	:	:	:
TeamB	5:34	:	23:31	35:02	:	:	:	:	:

〔 戦 評 〕

第1P、両チームともハーフコートマンツーマンでゲーム開始。序盤、土浦は硬さがみられシュートがなかなか入らない。その間に岡山工業は、高さのある#8を起点として流れをつかみ得点を重ねる。終盤、硬さの取れてきた土浦が得点を重ね#9の3Pシュートで逆転した。その後は一進一退の攻防を繰り返して、16対14で第1Pを終了。

第2P、両チームともハーフコートマンツーマンでじっくりと守り、簡単に得点をさせない静かな展開からゲームが再開した。その中でも岡山工業は#5がスティールから得点し流れを引き寄せようとする。しかし、土浦#14が攻守にわたってリバウンドをもぎとり、流れを引き渡さない。互いに譲らないゲーム展開が続いた。終盤、展開を変えたい岡山工業は2-1-2のハーフコートゾーンにディフェンスを変化させるが、土浦の外角のシュートが決まり流れを引き寄せることができない。39対32の7点差で前半が終了した。

第3P、開始早々岡山工業が厳しいディフェンスからスティールを連発し、ファーストブレイクから#4、#5と立て続けに得点し、開始2分で41対40と追いつく。土浦はフリースロー後、1-2-1-1のゾーンプレスをかけ、スティールからの得点に結びつける。しかし、岡山工業#4は焦らずにゲームをコントロールし、ドライブインから得点を重ね、徐々にペースをつかみ始める。土浦はハーフコートマンツーマンディフェンスに変化し巻返しを図るが、流れは変わらず52-62で岡山工業が逆転し終了した。

第4P、開始早々岡山工業#6の3Pシュートで13点差がつき、たまたま土浦がタイムアウトを取る。タイムアウト後、土浦はオールコートマンツーマンで激しいディフェンスをしかける。攻めあぐねていた岡山工業であるが、#8がリバウンドから得点を重ねる。土浦は残り7分15秒タイムアウトを請求し、さらに激しいオールコートマンツーマンでディフェンスをしかける。勝負どころを見極めた#4がカットインからバスケットカウントをもぎ取り、残り5分半で最大19点差がついた。残り4分半で土浦は最後のタイムアウト請求し、3Pシュート主体の攻めに切り替える。#4、#7、#10の3Pシュートで11点差まで詰め寄るが、時間及ばず岡山工業が78-89で勝利した。

戦評: 内海雅博

記録: 可部高校